

洲本市議会だより

みんなのぎかい

2024.8.15 vol.72



特集 100条委員会

公募写真 第17号

写真タイトル：光の中で 撮影者：久留米 敏仁さん 撮影場所：洲本市金屋新宮池

2 つの100条委員会開催状況報告

1 元市職員の不適切な事務処理等に関する調査

洲本市議会は、元市職員の不適切な事務処理等について、地方自治法第100条に基づき、昨年の9月定例市議会に特別委員会を設置し、今日まで調査を進めてきました。

調査項目

- 温泉利用券に関する虚偽の公文書を作成した疑惑
- お節料理の管理
- 旧東京アンテナショップでの在庫管理
- 商品券を使用したPC・プリンター

令和5年

第1回 10月19日

- 正副委員長互選
- 委員会の運営方針

第2回 11月20日

- 調査事項の確認
- 記録提出要求
 - 温泉利用券 ・市⇒洲本温泉観光旅館連盟の見積書
 - お節料理 ・株式会社パブリッシング⇒受注が確認できる書類
 - ・市⇒配布先が確認できる書類、業者とのメール
 - PC・プリンター ・(有)坂本文昌堂⇒当該PC・プリンターの請求書と納品書

第3回 12月7日

- 証人尋問
 - ・A元企画情報部長
 - ・B元企画情報部長

第6回 2月22日

- 証人尋問 ・竹内前市長
- 書面尋問 ・元魅力創生課係長
- 記録提出要求
 - お節料理
 - ・株式会社フードアーキテクトラボ
 - ⇒発送伝票、市との契約書類、メール

第7回 3月12日

- 翌年度も調査を継続する決議

第8回 5月2日

- 証人尋問 ・浜辺副市長
- ・上崎市長
- 記録提出要求
 - お節料理 ・ヤマト運輸株式会社⇒株式会社フードアーキテクトラボから依頼された配送先一覧
 - ・大松食品株式会社⇒発送伝票、株式会社パブリッシングとの契約書類、メール

2 (株)淡路島第一次産業振興公社の事務処理等に関する調査

元市職員の不適切な事務処理等に関する調査を進める中で、旧東京アンテナショップの業務委託に関する新たな調査が必要となり、地方自治法に基づき、上記の特別委員会を設置し、調査を進めてきました。

しかし、記録提出を求めた資料が未だ提出されていない状況にあり、調査を進めることができません。引き続き資料を要請し、報告書の作成に向けて取り組んでまいります。

令和6年

第1回 3月26日

- 正副委員長互選
- 委員会の運営方針

第2回 4月4日

- 調査事項の確認
- 記録提出要求
 - 業務委託
 - ・株式会社木田屋商店
 - ⇒旧東京アンテナショップに納品していた品物の一覧
 - ・(株)淡路島第一次産業振興公社
 - ⇒旧東京アンテナショップで販売していた物品の品名、販売価格、仕入れ価格の一覧、元店長の在籍履歴

調査項目

- 旧東京アンテナショップに係る業務委託
- ふるさと洲本もっともっと応援事業の特産品等の提供に関する事務



令和6年

第4回 12月27日

- 証人尋問 ・洲本温泉観光旅館連盟 事務局長
・旧東京アンテナショップ元店長
- 記録提出要求
お節料理 ・株JTBパブリッシング⇒契約書類、発送先、委託事業者名
旧東京アンテナショップ ・株淡路島第一産業振興公社
⇒仕入先の一覧表、請求書、物品の発送伝票

第5回 1月16日

- 証人尋問 ・C元企画情報部長
・元魅力創生課課長補佐
- 記録提出要求
PC・プリンター ・(有)坂本文昌堂
⇒元課長が商品券で購入し、
市へ納品した一覧、納品書

第9回 5月25日

- 証人尋問
・元魅力創生課長

第10回 6月18日

- 書面尋問の要請
・元魅力創生課係員

調査の経過と今後の予定

これまで、証人尋問や記録提出を求めた資料をもとに、委員会の調査を進めてきましたが、記録提出を求めた資料の一部が未だ提出されていない状況です。
また、調査で明らかになった点や、証人の証言が食い違う点の精査にも時間を要しており、引き続き調査を進め、報告書の作成に向け取り組んでまいります。

第3回 4月22日

- 証人尋問
・株淡路島第一次産業振興公社 元統括室長
・株淡路島第一次産業振興公社 支配人
- 記録提出要求
業務委託
・仕出し屋AZABU
⇒旧東京アンテナショップに納品した品物の一覧

第4回 5月2日

- 証人尋問
・上崎市長
- 記録提出要求
業務委託
・市⇒業務委託にかかる契約書類一式
・株淡路島第一次産業振興公社
⇒旧東京アンテナショップで販売していた物品の品名、販売価格、仕入れ価格の一覧、弁当の仕入れ個数、販売個数、廃棄個数の一覧

第5回 5月26日

- 証人尋問
・元魅力創生課長
- 記録提出要求
業務委託
ふるさと洲本もつともつと応援事業
・株淡路島第一次産業振興公社
⇒決算書
・みなみ総合販売(同)
⇒決算書、株木田屋商店、及び仕出し屋AZABUとの契約書類一式、打合せに関する文書
・元店長
⇒弁当の販売、仕入れに関する録音データ、株木田屋商店と仕出し屋AZABUとの弁当の仕入れに関する打合せの録音データ、弁当の廃棄に関する録音データ

第6回 6月18日

- 証人尋問
・旧東京アンテナショップ元店長

定額減税補足給付金など議決



市民生活を支援

- ◎物価高騰重点支援給付金の支給 …… 1億7,780万円
- ◎定額減税補足給付金の支給 …… 3億670万円
定額減税可能額が減税前の税額を上回る(減税しきれない)と見込まれる方に対し、その差額分を給付金として支給

子ども子育て対策

- ◎リーディングDXスクール事業費 …… 100万円
GIGA端末の標準仕様を十分に活用し、児童・生徒の情報活用能力向上を図る



健康福祉対策

- ◎新型コロナウイルス
予防接種健康被害給付金 …… 4,441万2,000円

その他

- ◎発信拠点施設の閉鎖に伴う清算 …… 115万9,000円
洲本市アンテナショップ「中之島すもと館」の閉鎖による清算経費
- ◎プリペイドカード返品に伴う処理手数料 …… 142万3,000円
ふるさと納税寄附者へのアンケート送付などに同封予定だったプリペイドカード残余分の返品手数料
- ◎訴えの提起などに要する経費 …… 165万円

議案審査Q&A

すもとシティプロモーション推進事業

Q プリペイドカードの処分については、市の行事で使うなど、処分方法を検討していると聞いていたが、最終的にすべて返品となった理由は。

A 【企画情報部】第三者調査委員会の報告書の中にも、代物弁済の手続きを取った上で、市の物品調達に使用する案もあったが、市の物品調達に使用するには、市内でプリペイドカードが使用できる店舗や物品が限られ、大量に所有しているプリペイドカードの処分が進みにくい。

また、市民に配布するなど、有効活用する方法もあるが、現時点で具体的な使い道が決定していないのと、経費もかかってくることから、5.5%の手数料を支払ってでも、早急に現金化するのが一番得策と判断した。

Q 残余分の300円と500円のプリペイドカード、それぞれの枚数は。

A 【企画情報部】300円券が、1万9,049枚。500円券が4万272枚である。

物価高騰重点支援給付金事業

Q 給付対象者が増加した理由は。

A 【健康福祉部】新たに市県民税が非課税、均等割のみの課税になった方が対象で、以前に給付を受けた方は今回対象になっていない。明らかに所得が減った部分でいうと、退職される方が増えたことなどが理由と考えている。

65インチ液晶ディスプレイ体型 電子黒板購入契約締結

Q 97台の設置先と時期は。

A 【教育委員会】小学校の普通教室すべてに、夏休みを利用し設置する予定である。

洲本まちなか広場の設置及び 管理に関する条例制定

Q 地元への説明会は開催したのか。

A 【産業振興部】内町連合町内会及び外町連合町内会の要望により、6月7日、まちなか広場の運営に関して、意見交換会を開催した。

Q 6月6日に条例案を議会に提出してから、地元と意見交換会というのは、地元を無視していないか。

A 【産業振興部】4月に、連合町内会長を通じて、ひとまず本市として、洲本まちなか広場の活用方法の説明をさせていただいた。実際運営するにあたって、地元には迷惑が掛からないよう、また地元の方に利用していただけるよう、意見交換会を実施した。

Q 意見交換会の後、地元連合町内会から要望書が提出されたと聞いているが、内容は。

A 【産業振興部】地元から意見を出していたが、意見が反映されない形での整備に至った憤りの部分と、広場の運営にあたり、以下の7つの要望をいただいた。

- ①トイレや日よけの休憩場所の設置
- ②トイレ整備までの間、市役所 1 階のトイレを開放
- ③夜の終了時間の前倒し
- ④防球ネット設置などの安全対策
- ⑤利用方法や予約状況をHPなどで広報、また広場内へ緊急連絡先の掲示
- ⑥早朝のボール遊びなどの禁止
- ⑦運用後、3～4 カ月後に市民との意見交換会開催

A【市長】要望書にあったように、現状としては、とりあえず3カ月運用して、改めて問題点を洗い出し整理して、改善できるところは改善するということで、地元と話をしている。

Q (前回の委員会以後) 要望への対応として、確認書を締結したとのことだが、両連合町内会は納得したのか。

A【産業振興部】内町・外町連合町内会長と要望にかかる確認書を7月24日付で締結しているので、そのように理解している。



▲洲本まちなか広場

討 論

●議案第66号●

反対 濱野 隆(うずしお)

担当者は事前に「さつき社」の特定電子黒板を選定しながら、メーカー機種不問の『仕様書』を作成した。教育委員会と特定事業者による不正入札は落札金額から明白だ。同事業者を排除し、再入札するべき。反対だ。

反対 木元 寿夫(うずしお)

落札業者の市内文具店は、以前、市に物品を納入した際、請求書の記載内容を、購入した物品と異なる消耗品名目書き換えた。ペナルティがあつてしかるべきであり、入札資格を問うべきである。市の入札監視委員会の開催が必要。

●議案第69号●

反対 近藤 昭文(日本共産党)

日本共産党議員団は、違法と判断された審決の不服申し立て議案に反対の態度で臨んでおり、百条委員会に関わる予算を除いて反対する。

反対 久保 哲二(うずしお)

この補正予算は、懲罰の審決に対する取消訴訟を行う費用に税金(公金)を使う案件であり承服しがたい。賛成議員は自腹で自ら訴訟手続きを行うべき。

反対 木元 寿夫(うずしお)

議会に要請され必要な経費との説明だが、県知事の審決に不服がある議員が、自費で弁護士に相談すべき。税金を使用するなど市民の理解を得られない。

反対 生田 進三(無会派)

私的な性質が強い案件に税金を投入することは認められない。制度上、市が負担すべきものであっても、賛成議員が同じ金額を、市に弁済すべきである。

賛成 中野 睦子(「志」)

これは4月臨時市議会で、市議会として賛成多数で可決された訴えの提起に関連する議案。百条関連も含め、市議会として必要な弁護士費用である。

6月定例市議会

議決結果一覧

賛否の分かれた議案

件 名	議 員 名	議 決 結 果	近藤 昭文	間 和生	濱野 隆	久保 哲二	高島 久美子	中野 睦子	清水 茂	柳 真一	先田 正一	原田 ひとみ	木元 寿夫	小野 章二	小松 茂	木戸 隆一郎	笹田 守	生田 進三	福島 昌幸
議案第66号	6.5インチ液晶ディスプレイ一体型電子黒板購入契約締結	原案可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第69号	令和6年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○

※議長(福本 巧)は評決には加わらない。しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。○は賛成、×は反対、欠は欠席、―は除斥。

全員賛成の議案

件 名	議 案 内 容
議案第55号	令和6年度一般会計補正予算(第1号)
議案第56号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
議案第57号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第58号	火葬場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第59号	洲本まちなか広場の設置及び管理に関する条例制定
議案第60号	下水道条例の一部を改正する条例制定
議案第61号	兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更

件 名	議 案 内 容
議案第62号	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議
議案第63号	淡路市と洲本市との間の五色台聖苑火葬場における火葬事務の委託の廃止に関する協議
議案第64号	健康福祉館大規模改修工事請負変更契約締結
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦
議案第67号	(仮称)宇原千草線2号橋橋梁(下部工)工事請負変更契約締結
議案第68号	下内膳線橋梁工事(P1橋脚)請負変更契約締結
議員提出議案第5号	議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定

※表記は、正式な名称ではありません。

4月臨時市議会 議案 54号「訴えの提起等について」を賛成多数で可決

兵庫県知事は、自治紛争処理委員からの意見を踏まえ、令和4年12月定例市議会において、洲本市議会が濱野議員に対して科した出席停止1日の懲罰を、取り消す旨の審決を行いました。

この審決を不服として、市長が議会の要請を受ける形で、議案第54号「訴えの提起等について」を議会に提出し、上程されました。訴えの提起等の趣旨は、本件審決の取り消しを請求することで、相手方は、兵庫県又は兵庫県知事となっています。

※自治紛争処理委員
地方自治法の規定による審査請求、または同法の規定による審査の申し立て、もしくは審決の申請にかかる審理を処理する。事件ごとに、優れた識見を有する者のうちから知事が任命する。

討論

反対 間森 和生(日本共産党)

兵庫県は、審決申請人に対する出席停止1日の懲罰が、議会の裁量権の逸脱・濫用、回復すべき法律上の利益を有するとして違法とした。市議会も上級に訴えるのではなく審決を受け入れるべきだ。

反対 久保 哲二(うずしお)

県知事の審決は濱野議員の懲罰は違法で市議会の議決は無効と決定した。その審決に不服申し立てを出すことは知事に楯突く行為であり、洲本市議会の品位、名誉を著しくおとしめる行為である。

反対 木元 寿夫(うずしお)

違法、無効であるとの県知事の審決結果。濱野議員への名誉回復が求められている。ふるさと納税復帰が遠のき、市民にとって、絶対プラスにならない。洲本市民をなめたらあかん。

反対 生田 進三(無会派)

本市議会が下した出席停止の懲罰は、県から下された審決の内容を読み解くに、社会通念の観点から大きく逸脱したものであることを理解し、審決を潔く受け入れるべきである。

賛成 小松 茂(宙)

審決は議員が議事に参与する権利を損なったとされているが、議場において著しく私人の名誉を棄損したこととのバランスを欠いたものである。上級庁あるいは司法の判断を仰ぐべきである。

賛成 木戸隆一郎(「志」)

私人に関する毀損については、審決申請人の過失として県も認めている。全国でも特異な例であり、限られた時間の中で判断するのではなく、改めて判断を委ねるべきである。

賛成 中野 睦子(「志」)

議員の議決権は重く、尊重されるべきであるが、今回の審決は、そもそも懲罰に科せられた濱野氏の言動について十分審議されたものではない。改めてきちんと審議してもらう必要があるため、賛成する。

賛成 小野 章二(「志」)

本会議で事実と異なる発言が事の発端、かつ議会の品位をおとしめている。このことの原因に触れられていないし、反省もない。今後、間違った発言がまかり通ることが懸念される。

●報告第5号●

反対 近藤 昭文(日本共産党)

国保や後期高齢者医療は、国が住民の生活を守る立場で責任をもって住民負担を抑えてほしい。国保から子ども子育て支援金を徴収するということは問題であり反対である。

4月臨時市議会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案等

件名	議員名	議決結果	近藤	間森	濱野	久保	高島	中野	清水	柳川	先田	原田	木元	小野	小松	木戸	笹田	生田	福島
			昭文	和生	隆	哲二	久美子	睦子	茂	真一	正一	ひとみ	寿夫	章二	茂	隆一郎	守	進三	昌幸
報告第5号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	承認	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	訴えの提起等	原案可決	×	×	-	×	○	○	○	欠	欠	欠	×	○	○	○	○	×	○

全員賛成の議案等

件名		件名	
報告第4号	税条例の一部を改正する条例制定	議案第53号	福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第52号	住居表示審議会条例の一部を改正する条例制定		

※表記は、正式な名称ではありません。

9月定例市議会の予定

8月30日(金) 常任委員長会	9月18日(水) 本会議(第4日)	9月27日(金) 決算特別委員会
9月3日(火) 議会運営委員会	9月19日(木) 常任委員会	9月30日(月) 決算特別委員会
9月6日(金) 本会議(第1日)	9月20日(金) 常任委員会	10月1日(火) 決算特別委員会
9月13日(金) 本会議(第2日)	9月24日(火) 常任委員会	10月2日(水) 予備日
9月17日(火) 本会議(第3日)	9月25日(水) 決算特別委員会	10月3日(木) 本会議(第5日)
	9月26日(木) 決算特別委員会	



動画QRコード

子ども・子育て世帯へ「切れ目のない支援」を要望

さき た しょう いち
先 田 正 一 (公明党)



ふるさと納税問題

Q ふるさと納税関連の債務残高と制度復帰の時期は。

A【財務部特命参事】5月末現在で、債務残高は約5億2,912万円あり、今年度の制度復帰は難しい。

Q 責任の所在、取り方、進退は。

A【市長】この問題は、ふるさと納税額の獲得を最優先としたことが大きな原因であり、本市の行政運営の責任者である私にある。必要な組織改編や体制の整備、市民からの信頼回復に努めることが、私の果たす

べき役割であり、私の思う責任の取り方である。進退についての議員のご発言は、ご意見として承る。

子育て支援

Q 少子化対策や経済的支援は。

A【健康福祉部長】児童手当は本年10月分より拡充され、所得制限を撤廃し、支給期間を高校3年生まで延長。多子世帯では、第3子以降は月額3万円を給付。さらに「こども誰でも通園制度」についても実施に向け検討する。

Q 教育支援などは。

A【健康福祉部参事】令和7年度から多子世帯の大学授業料などの無償化に向けて、制度の詳細が検討されている。関連情報の収集に努め、国・県、他市町の動向を踏まえ、必要に応じ、適切な対応について検討する。

その他、交通安全対策について質問しました。



▲すくすく育てすもとっ子



動画QRコード

健康寿命を長くし、ピンピンころり!!

き もと とし お
木 元 寿 夫 (うずしお)



空家対策

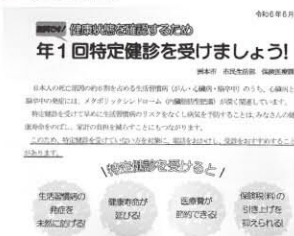
Q 令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化された。正当な理由なく、申請がない場合、10万円以下の過料とあるが。

A【都市整備部参事】正当な理由とは、相続人が極めて多数、遺言の有効性や遺産の範囲などが相続人で争われている場合などがある。法務局の登記官は、正当な理由なく申請されない場合、管轄地方裁判所へ通知し、裁判所が決定し、過料を科す。

第9期介護保険事業

Q 事業計画(新規)は。

A【健康福祉部長】①地域ケア会議の充実による地域課題の支援策の検討②自立支援と重度化防止の推進③認知症施策の推進を重点として、これまでの取り組みの更なる深化・推進を図る。



ふるさと納税問題

Q お節料理の配布先がすべて判明していないにも関わらず、住民説明会で、市長が

「洲本市議会議員への配布はない」と説明したのはなぜか。

A【市長】その当時、調べられた中にはなかったという認識での説明である。

公益通報制度

Q ふるさと納税に関して、公益通報委員会を設置したことはあるのか。

A【総務部長】ふるさと納税は非常に幅広く、具体的な案件でないと、通報の受け付け、調査の可否の判断ができないので、答弁できない。



早急に学校再編について本格議論を！

き 木 戸 隆 一 郎 (こころざし「志」)



動画QRコード

Q 小・中学校における、適正規模、適正配置の考えは。

A 【教育委員会事務局参事】

令和4年1月の洲本市学校教育審議会からの答申により、小学校では、「各学年で複数学級を理想とし、複式学級となることが予測される場合、統合などの検討に入る」。また、中学校では、「各学年で複数学級を理想とし、旧洲本地区での1校再編についても検討が必要である」とされており、①複式学級の解消②複数学級の実現の2点が軸となる。

加えて、③長期的展望を見据

えた学校施設の確保④関係者と十分協議・調整を重ねること、以上の4点に基づき取り組んでいく。

Q 今後の進め方は。

A 【教育長】まず、本年度策定予定の第3期洲本市教育振興基本計画において、基本方針を定めたい。その過程でパブリックコメントの募集も予定している。併せて、教職員との意見交換などで問題点、課題点、対応策を協議していく。

その後、具体のスケジュールや枠組みについて、児童・生徒及びその保護者、未就学児及びその保護者をはじめ、対象校区

の皆さまと協議を進めていくことを考えている。

このほか、小・中・高の連携、再編時の放課後児童クラブ、跡地の利活用の考え方について、空き家対策と民間との連携などについて質問しました。



ふるさと納税問題、使途不明お節料理の徹底解明を



こん 近 藤 昭 文 (日本共産党)



動画QRコード

Q ふるさと洲本応援商品券の印刷発行で、なぜ、通し番号を打たなかったのか。金券であり、本来の目的と違う使用がされてもわからないのでは。

A 【企画情報部長】迅速かつ安価に調達を行う必要があったためと推測する。目的外に使用される可能性は否めない。

Q 使途不明のお節料理の調査で、解明の進みにくい原因は。解明が進まない想定した場合の処理は。

A 【企画情報部長】お節料理の送付先をはじめとする書

類が確実に残っておらず、また書類が整理されていなかったことが原因と考える。調査ができたところまでを報告し、最後には適切に処理する。

Q ガバナンス、コンプライアンス研修での改善、効果は。

A 【財務部特命参事】不祥事の再発を防止するため、意識の醸成を図り、コンプライアンスに関する意識づけの強化ができると考える。

Q 神戸・関西空港飛行経路の見直しについて住民説明会でも多く出た実機飛行の要望を、本市として国・県へ上げてほしい。

A 【企画情報部長】実機飛行による騒音調査の実施も含め、幅広く要望していく。

Q 住民合意をどのように図っていくのか。

A 【企画情報部長】意見を重く受け止め、島内3市で共有・調整したうえで、最終的な決定権を有する関係機関に強く要望していく。



▲関西国際空港の駐機場



動画QRコード

単身世帯率30%、この現実を直視し、新たな施策を！

小 野 章 二 (こころざし「志」)



暴力団追放運動の展開

Q 暴力団追放運動の必要性の認識は。

A 【総務部長】 安全・安心な市民生活の確保のため、従来から必要性を感じている。

Q 暴力団追放運動の終点を迎えるための取り組みとして、淡路市と同様に、暴力団の旧本家の不動産購入の考えは。

A 【総務部長】 購入について、現状、市が主体的に行うのは難しい。しかしながら、世の中に暴力団が存在する限り、市として、引き続き関係団体と連

携を図り、暴力団追放に関する取り組みを続けていく。



▲拳を突き上げて、シュブヘビコールを上げる参加者

単身世帯(一人暮らし)と地域社会

Q 単身世帯数の実数と今後の予測は。

A 【健康福祉部長】 令和2年

の国勢調査では、6,049 世帯で、今後も増加傾向にあると思われる。

Q 単身世帯の抱える生活リスクについての認識と、今後の行政の取り組みは。

A 【健康福祉部長】 生活リスクについて、最も影響がでるのは、高齢者と障害のある方だと認識している。特に、健康リスクの取り組みとして、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す。



動画QRコード

議会において市当局は真摯な答弁をするべき！

く ぼ てつ し 久 保 哲 二 (うずしお)



Q 元魅力創生課長の懲戒処分について、退職日3日前に6か月の停職処分を行う対応は言い訳の処分、茶番と言える。

また、満額の退職金支給は、市に多大な損害を与え、退職許可は不祥事の真相究明をより難しくした行為であり、執行部の責任は重大である。今でもその懲戒処分は正しいと思うのか。

A 【総務部長】 考査委員会を開催し、適切に対処した。退職金の支給は、処分内容を踏まえた上で、規定に基づき支給されたもので妥当である。

Q 不正取得のパソコンについて、副市長は3台と証言し

たが、元課長は1台しか弁償していない。他の1台は、副市長が元課長に弁償させることなく、自分が支払ったと証言した。その行為は証拠隠滅罪に抵触する恐れがある。元課長を告訴しないのか。

A 【副市長】 現在、事実確認を行っている。その結果を踏まえて、適切に対処する。

Q ニュースサイト「ハンター」の記事に、大量の商品券が庁舎に隠匿されている記事がある。それは事実か。

A 【企画情報部長】 令和2年度分の残数は1万 5,549枚

で、厳重に保管している。令和3年度分は残数18万 6,400枚で、事業実施後は他に利用することができないものであり、廃棄するため倉庫に保管している。

このほか、三熊山の茶店の管理について、市民の声を報告し、今後の管理について質問しました。



▲三熊山の茶店



情報公開、透明で開かれた市政に！！

はら だ ひとみ (公明党)



動画QRコード

Q 透明で開かれた市政として、市民の意見、要望を積極的に市政に反映させるため、本市にも市民と自治体が意見を交わす場が必要では。

A【市民生活部長】 連合町内会との共催という形で、柔軟に地区別のまちづくり懇談会の開催を考えている。

Q 市民の声を届ける「市長への手紙事業」をしては。

A【市民生活部長】 ご意見・ご要望を市長へ届ける有効な手段であると考えてるので、検討させていただく。

Q 敬老記念品贈呈事業の引換券を1,000円に増額しては。

A【健康福祉部長】 予算確保の観点からも他の敬老事業をはじめ、高齢者福祉事業にかかる全体枠の中で検討が必要。事業実施状況などを踏まえて検討してまいりたい。

Q 聞きづらい方への配慮として、窓口に軟骨伝導イヤホンの導入をしては。

A【健康福祉部長】 本市では、携帯助聴器を窓口を導入している。軟骨伝導イヤホンには痛みや音漏れが少ないといった利点があるとのこと。本市窓口での

利用効果について、今後情報収集を図るなど、注視をしていく。

Q 公設市場跡地を多目的広場として整備した目的は。

A【産業振興部長】 市民の交流促進、賑わいの創出に寄与するため設置。さまざまなイベント会場として、また市民に親しまれる広場として、多くの市民にご利用いただきたい。



地域の活性化につながる道の駅整備を



ま もり かず お 間 森 和 生 (日本共産党)



動画QRコード

Q 重点道の駅として整備される高田屋嘉兵衛公園の新しい駅舎は。

A【産業振興部参事】 休憩スペースや子育て世代に対応したベビーコーナー、トイレや道路情報・地域情報を発信するスペース、農産物などの物販施設を計画している。浜千鳥への動線は、エレベーターの設置で対応したい。

Q 駅舎のほかには。

A【産業振興部参事】 芝生広場近くにトイレ、遊具の充

実、夢工房につながる道路に歩道を整備する計画などがある。

Q 道の駅推進室は、全体を見わたすプロジェクトチームになっているか。

A【産業振興部参事】 課内・庁内・関係者と調整を図りながら、オープンに向け推進していく。

Q 全体事業費や運営主体は。

A【産業振興部参事】 既存施設のリニューアル整備を含め、全体で約22億円を見込んでおり、駅舎は約8億5,000万円。運営は五色ふるさと振興公社で

検討を進めている。



▲解体しキャンプ場に整備されるGOGOドーム

Q デイサービス事業が2か所休止した。基本報酬引き下げで、訪問介護削減が心配だ。

A【健康福祉部長】 現在、その相談はない。今後も介護人材の確保及び事業所との連携の強化を図り、安定したサービスの確保に努めたい。



動画QRコード

不正取得3台目PCは贈収賄では？

はまのたかし
濱野 隆 (うずしお)



Q 電子黒板の機種選定担当部署と選定経緯は。

A【教育次長】学校教育課の担当者が、令和6年3月、複数メーカーの電子黒板を操作し、仕様書を作成した。

Q 電子黒板の入札と、本市の入札監視委員会の機能は。

A【財務部長】指名競争入札により実施済。現在、直ちに審議いただく案件がないため開催していない。

Q 市長と特命参事は、虚偽名目の請求書で不正に購入された大量の備品と、総額4,500

万円のS BRICK 什器備品を、備品登録前に議会へ報告する指示を出したか。

A【企画情報部長】(不正購入品は) 議会への報告は行っていない。

A【産業振興部長】(什器備品は) 議会へ報告の指示は受けていない。

Q 不正取得1台目PCは、誰がどこへ注文したか。

A【総務部長】答弁を差し控える。

Q 市内文具店と元課長の間で、3台目PCの金銭授受はあったのか。これは、贈収賄

ではないのか。

A【副市長】金銭授受はない。(贈収賄について) あくまで商行為としてパソコンを販売されたと理解している。

Q 市内文具店は商品券を換金したか。

A【副市長】一部換金したと聞いている。



▲贈収賄が疑われる不正取得3台目PC
(浜辺副市長が個人購入したというPC)
※写真はイメージです



動画QRコード

ふるさと納税問題の徹底解明を要望

いくたしんぞう
生田 進三 (無会派)



Q 温泉利用券の印刷枚数(1万円券 34万 1,100枚、5千円券 7,805枚)と、発行された枚数(1万円券 33万 421枚、5千円券 7,585枚)に金額で1億 703万 5,000円の差があるが、どのように理解すべきか。

A【企画情報部長】答えるだけの資料を持ち合わせていない。

Q 2020年度の商品券(A券、B券、C券)は、印刷枚数40万 5,000枚、使用された枚数32万 7,532枚、余剰枚数1万 5,549枚(会計課で保管)を計算すると、6万 1,919枚が使途不明となるが、どのように理解すべきか。

A【企画情報部長】会計課で保管している1万 5,549枚はC券のみ。A券、B券については、2022年4月に溶解処理をしているが、その枚数、数量は不明確。

Q 注視すべき事業者グループの事務費割合(送料、梱包費など答弁できる情報を持っていない。)が、20%が適当であると判断された場合、本市に過大請求された金額の合計は約11億円になると思われるが、調査は進んでいるか。

A【企画情報部長】ある程度調整が進んだ段階で報告する。

Q 第三者調査委員会の最終報告書に、S BRICK リノベーション事業においても、本市からの相当不透明な金銭の流れがあったと記載されているが、金額はいくらか。

A【産業振興部長】答弁できる確たる情報を持っていない。



所管事務調査

市議会では、議会が閉会中、それぞれの委員会が所管する事業について、報告を受け調査をしています。調査内容をお知らせします。

総務常任委員会

相川集会所を廃止し、上灘出張所に

企画情報部より、洲本市未来投資推進基金事業・デマンド交通(チョイソコすもと)実証運行・ふるさと洲本もっともっと応援寄附金事務事業。総務部より、公益通報制度・消防団操法大会・由良支所の取扱事務。財務部より、公共工事の契約制度・収納率向上対策など、21事業について、それぞれ事業の進捗状況などの説明を受け、質疑を行いました。

説明に先立って、洲本バスセンターから灘来川のバス停までの上灘・沼島線コミュニティバス路線に乗車し(委員長ら2名)、乗客の声や利用状況など調査。その後、上灘出張所業務を視察しました。(5月21日)



▲上灘出張所

教育民生常任委員会

加速する教育のICT化

市民生活部より、諸証明書コンビニ交付事業・プラスチック資源循環推進事業。健康福祉部より、こども医療費助成事業・優しさを育み未来へつむぐ事業・認定こども園整備事業・認知症総合支援事業・集団健康診査事業。教育委員会より、学級改善アシスタント配置事業など、13事業について調査しました。

現地調査として、洲本第三小学校GIGAスクールの授業見学・児童クラブ大野の見学・洲本給食センター・教育センターを見学しました。(5月17日)



▲GIGAスクールの授業見学

産業建設常任委員会

地元住民にも愛され、気軽に立ち寄れる道の駅整備を！

産業振興部より、うしぢから誘発推進事業・漁港改修事業。都市整備部より、河川改良費・市営住宅ストック総合改善事業など17事業について状況を確認し、理解を深めました。また、高田屋嘉兵衛公園・下内膳線橋梁工事・アルチザンスクエアなど、5か所を現地調査しました。後日、高田屋嘉兵衛公園について、道の駅機能を含む再整備計画の説明があり、5つの基本方針と、「歴史が薫り、自然・温泉に癒され、食を堪能、多世代集う賑わいステーション」を整備コンセプトとして、令和10年度中の開業を目指すとの報告がありました。(5月16日)



▲高田屋嘉兵衛公園



5月議員研修

令和6年度 躍動する兵庫の取り組み

◆5月24日

兵庫県淡路県民局 川井 史彦 局長

躍動する兵庫「個」が輝く希望と安心の未来へ取り組んでいます。兵庫県が抱える課題として、出生数の低下や20代の転出超過などがありますが、学びやすい兵庫、子どもを産み育てやすい兵庫、住みやすい兵庫、働きやすい兵庫など、若者・Z世代応援の予算を編成しています。

また、淡路地域のフィールドバピリオンとして、18項目の認定プログラムを策定し、淡路県民局の今年度当初予算は89億6千万円で、島を支える産業の振興、訪れたくなる島づくりなど、5つの柱となっています。具体的には淡路島の魅力発信、食のブランド「淡路島」の推進などを提案しています。

Hyogo Prefecture

食のブランド「淡路島」の推進

1. 訪れたくなる島づくり
(3) 「食の島」あわじの実現

33

[9,845千円]

・淡路島の農畜水産物の生産・加工・流通関係者及び飲食・観光関係者が一体となった「食のブランド『淡路島』推進協議会」において、「食の島」としてイメージされるようブランディングを進める。
・淡路島産の産品の価値の向上、京阪神、首都圏などの大消費地での需要の開拓、観光消費増による淡路島の元気づくりなどを目的として活動を展開する。また、「大阪・関西万博」や「AWAJI島博」の開催を見据え、淡路島の豊かな食材を核とした魅力発信を行う。

●「食の島」のブランドイメージ形成定着

- (1) 淡路のブランド農畜水産物のPR・情報発信
- (2) 飲食店レベルアップ研修会の開催
- (3) 技術研修に向けた料理人コンテストへの出品支援
- (4) 大阪・関西万博及びAWAJI島博の開催に向けたプロモーション活動



●ターゲットを明確にしたプロモーション活動

- (1) 事業者向けプロモーション
ア 百貨店やスーパー等と連携した売り場確保
イ 商談会や展示会等への出展支援による販路開拓
- (2) 観光客向けプロモーション
ア 新たな特産品目のブランド化推進
イ 協議会構成員が行う万博に向けたPR準備活動支援等
ウ 「淡路島産食材こだわり宣言店」の募集・PR及びインバウンド対応パンフレットの作成
オ 「美味しい御食国月間レイイベント」の開催
- (3) 消費者向けプロモーション
ア 首都圏や京阪神における情報発信
イ 「おさかな料理教室」の実施(家庭での魚食拡大)



スーパーの淡路島産食材販売コーナー(千歳店)

▲当日の説明資料より

4月議員研修

議員のためのハラスメント防止研修

一般社団法人 公務員研修協会
高嶋直人 代表理事



◆4月25日

地方議会議員は全体の奉仕者であり、特別職の公務員として、一般職の公務員の例を踏まえ、自ら行動規範を作る必要があり、高い倫理観が求められます。

全国地方議会の動きは、ハラスメント防止条例を策定する動きが加速されていますが、二元代表制と矛盾しないか、住民を縛ることの妥当性など、慎重な判断が必要ではないかと考えます。

7月議員研修

～洲本市の活性化に向けて～ 国の経済政策と 観光政策について

洲本市産業振興部

大畑 翔吾 次長



◆7月25日

少子高齢化、生産年齢人口の減少、人手不足など現状の課題に対して、「失われた30年」を分析し、国は中小企業向けなどの支援策、ミッション志向の産業政策を示しています。

洲本市の活性化に向け、市街地周遊と地域消費を促し、空き家を利用した取り組み、オープンファクトリー、女性のスタートアップ支援など4つの案が示されました。

淡路議会議員研修

淡路発で進める 「日本の課題： 高齢化対策とデジタル化」

ITエバンジェリスト

若宮 正子 氏



◆7月26日

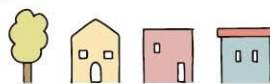
89歳になられる若宮氏は、58歳から独学でパソコンを習得。経歴を紹介しながら、生涯学習、デジタル行政の効率化、市民生活への適用を進めている先進国のデンマークやエストニアを紹介。

「淡路島の更なる発展のために重要なこと」と題して、デジタル化の推進、6次産業化、持続可能な観光の実現など10項目を挙げられました。

由良・
上灘地区

議会報告会 議会懇談会

代替え 地域の



開会のあいさつ

本日は、洲本市議会の議会報告会ということで、ご参加いただき、ありがとうございます。また、報告の後、グループに分かれて、由良・上灘地区にこれから起こりうることや問題など、忌憚なく意見を述べてください。



豊田 由良連合町内会長

7月10日、エトワール生石にて、由良・上灘連合町内会と共催して第25回議会報告会・懇談会を開催しました。

3月定例市議会の報告後、4つのグループに分かれて、災害時の代替え道路・空き家問題など、地域の課題をテーマに活発な意見交換を行いました。



内田・中之町のみなさん

- 掛牛(かけおうじ)が崩れて、通れなくなる心配がある。
- シカやイノシシが出てきている。何とか駆除を進めてほしい。
- 越波対策についても、早く進めてほしい。

天川・紺屋町・他地区から参加のみなさん



- 新飛行経路について、今ですら低く感じる時や、うるさいと感じる時があるので、更なる不安を感じている。
- 市の総合計画、基本計画を議員が、どれだけチェックしているのか。ふるさと納税問題にしても、今まで議会は何をしてきたのか疑問に思う。

皆さんの意見・要望に

議会はこう動いた

出された意見を仕分けして、執行部に考え方や見解の回答を依頼



所管の常任委員会ごとに回答内容を確認・協議



議員協議会にて全議員で確認



各町内会長に回答書を送付
(必要な課題は議会として政策提言をします)

道路・空き家問題など

課題で活発な意見!!



南・四丁目のみなさん

- 住民の一部に、ごみの分別ルールを守らない人がいるので困っている。
- 空き家問題について、ねりこ祭りで必ず通るルートのため、一日も早い解決を望む。



相川・畑田・中津川第二のみなさん

- 波の高い時は、県道が通行止めになる。生活道路として県道534号線の整備をしてほしい。
- イノシシ、シカ、サルなどの動物と共生することを考え、行政とモンキーセンターなどで、連携して対策してほしい。

閉会のあいさつ

たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。暑い日が続きますが、熱中症には気をつけて過ごしましょう。



坪谷 上灘連合町内会長



町内会にお渡しする回答書は、後日、ホームページに掲載する予定です。



高校生のこえ もっと身近に感じる市議会に



福本議長

若い世代、高校生の皆さんの声を議会として、しっかり受け止めていきたい。

広報広聴特別委員会 意見交換会

実施日：令和6年7月16日(火)

団体名：蒼開高等学校生徒会

蒼開高等学校の生徒会5名と「議会報の感想」、「市議会のイメージ」、「議会のあり方」について意見交換をしました。



あおき はると
青木 悠人 会長

今まで、議会だよりがあることを知らなかった。商店街にポスターのように貼ったりして、まず知ってもらわないと。

議員が市民のために活動しているのは、何となく知っている。

もっと市議会がやっていることを、アピールする機会を作っては。



なかむら もりたか
中村 守孝 書記



ひがし むなり
東 武成 書記

議会だよりは、表紙の写真がすごい。表紙に目次を入れると、興味があるところだけで、読んでくれる人が増えるのでは。



ひろせ いろは
廣瀬 彩花 文化委員長

道路の割れ目が危ない。安心して通学できるよう歩道の整備をしてほしい。



うえた ちさと
上田 千咲都 美化委員長

議会の言葉がわかりにくい。ちょっとでもいいので、学生がわかりやすいように、議会用語の説明とか入れてみては。

編集後記

◆今回の「議会だより72号」から新しい制作(印刷)業者となりました。毎回、議員・議会事務局・制作業者が一体となり、知恵を出し合い作られます。長年依頼していた制作業者は、今までの流れがよく理解していることで安心感があります。◆しかし、印刷物は生き物です。日々成長しています。よって制作業者が代わる時が、新たな成長の機会と思いポジティブに捉えたいと思います。◆これからも市民目線に立ち、「わかりやすい」「読みやすい」議会だよりを目指し、委員一同努力してまいります。皆さまのご意見・ご要望をお聞かせいただければと思います。(久保)

表紙

写真

募集中!!



市内で撮影された風景、イベントなどの写真で表紙を飾りませんか?

詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

洲本市議会 検索